

1. 小売業の種類

第6問 (25点)

粗利益分配方式

粗利益額によって算定する。

売上高比例方式

売上高、または売上に代わる手数料に対する一定比率で算定する。

営業規模比例方式

店舗面積や部屋数、車の保有割合など、その業種の規模を表す大きさや数量によって算定する。

第7問 (25点)

共通点

百貨店が商品を引き取る際、商品の所有権が仕入先企業にある。

相違点

百貨店が商品を引き取った後の保管責任について、委託仕入は百貨店が負い、消化仕入は仕入先企業が負う。

2. マーチャンダイジング

第6問 (25点)

割当予算

利益計画にもとづいてトップマネジメントが利益目標から各部門の予算を導き出して設定し、各部門に割り当てる方式の予算。

積上予算

各部門から予算原案を自主的に提出させ、これを尊重して総合的に調整して予算を編成する方式の予算。

第7問 (25点)

(1) 計算式

・ 期末棚卸高 (売価基準)
= 期首棚卸高 (売価基準) 900 千円 + 純仕入高 (売価基準) 4,500 千円 - 純売上高 3,900 千円 = 1,500 千円
・ 平均在庫高 (売価基準) = { 期首棚卸高 (売価基準) 900 千円 + 期末棚卸高 (売価基準) 1,500 千円 } ÷ 2 = 1,200 千円
・ 商品回転率 (売価基準) = 純売上高 3,900 千円 ÷ 平均在庫高 (売価基準) 1,200 千円 = 3.25

答え 3.3 回転

(2) 計算式

・ 原価率 =
$$\frac{\text{期首棚卸高(原価基準)450千円} + \text{純仕入高(原価基準)3,000円}}{\text{期首棚卸高(売価基準)900千円} + \text{純仕入高(売価基準)4,500円}} \times 100 = 63.888\cdots \rightarrow 63.9 (\%)$$

・ 期末棚卸高 (原価基準) = 期末棚卸高 (売価基準) 1,500 千円 × 原価率 63.9%

答え 319.5 千円

3. ストアオペレーション

第6問 (25点)

刺身と刺身しょう油、焼き肉と焼き肉のタレなどのように、主商品と副商品をセットにして1つの売場に並べて、同時購買の確率を高めるディスプレイ技術である。

第7問 (25点)

(1) スペースマネジメントの意義

商品の陳列位置や陳列量などを意図的にコントロールし、特定したスペースにおいて売上と利益の最大化をはかるもので、フロア（コーナー）単位とシェルフ（棚）単位とがある。

(2) ROIの意味

投下した資本（金額）に対して、どれだけの利益を獲得できたかを測るための経営指標、利益額を投資額で割り、100を掛けた数値で表される。

4. マーケティング

第6問 (25点)

回帰分析

一方の変数に関する測定値の変動を、他方の変数（複数でもよい）に関する測定値の変動によって説明する予測モデル。

因子分析

種々の要因間の背後に潜在化し、共通している特性（因子）を抽出するための記述モデル。

クラスター分析

サンプル集合を個々のサンプル間にみられる類似度あるいは距離（類似しない程度）にもとづいて、似たもの同士の一群に分類する記述モデル。

第7問 (25点)

開拓的広告

導入期に実施される広告で、商品の認知、関心の獲得を目的として、商品の価値を高めて基本的需要を刺激するために行われる。

競争的広告

成長期（競争期）に採用される広告で、基本的需要が喚起された自己ブランドへの選択的需要や銘柄需要を喚起し、シェアの拡大をはかる目的がある。

維持的広告

成熟期・衰退期に採用される広告で、需要の減少に対し、マーケットシェアを維持するため、商品ないし商標名を想起させることを目的としている。

5. 販売・経営管理

第6問 (25点)

(1)	将来企業収益が上昇すると考えられていると評価できる
(2)	当期純利益を増やす方法、自己資本を小さくする方法
(3)	ROEは自己資本を使い、ROAは使用総資本を使う
(4)	内部留保が多い状態

第7問 (25点)

(1) 計算式

計算式：営業キャッシュフロー5,763百万円÷売上高103,180百万円×100=5.585…

答え 5.59%

(2) 計算式

計算式：営業キャッシュフロー5,763百万円÷流動負債45,298×100=12.722…

答え 12.72%

(3) 計算式

計算式：営業キャッシュフロー5,763百万円÷発行済株式数52百万株×100=110,826…

答え 110.83百万円